

平成 30 年度
神戸大学 国際人間科学部 発達コミュニティ学科
アドミッション・オフィス入学試験
スポーツ科学受験 第 1 次選抜
スポーツ科学に関する筆記試験
平成 29 年 10 月 14 日（土）実施

【筆記試験】（150 点）
試験時間：150 分

（注意）

- ① 問題は 3 問（問題冊子は表紙と下書き用紙を含めて 14 枚）あります。
- ② 解答用紙は 3 枚あります。
- ③ 解答はすべて解答用紙の指定の欄に記入してください。
- ④ 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- ⑤ 配付した問題冊子と解答用紙、下書き用紙は試験終了後に回収します。

【問題 1】

以下の文章は、カナダのコーチング協会が編集した子ども（6-12歳を対象）の競技スポーツ活動に関するガイドブックにおいて、コーチや親の疑問に対しQ & A方式で答えたものです。「子どものスポーツ種目の早期専門化」に関する以下の内容を読んで、設問に答えなさい。（配点 50 点）

※ 問題資料は非公開

出典：LeBlanc, J., & Dickson, L. (1997) *Straight Talk about Children and Sport: Advice for Parents, Coaches, and Teachers*. Coaching Association of Canada, Oakville, ON: Mosaic Press. P.23

[設問 1] 日本では、親自身も同じ競技スポーツを経験しており、早い年齢からそのスポーツを専門的に訓練してきた選手の成功例も見られます。スポーツ種目の早期専門化を支持する側に立って、その長所や必要性を述べなさい。

[設問 2] あなた自身の競技経験や意見をもとに、「子どもは、いつ専門種目を決めるべきか？」という問いかけに解答しなさい。

【問題 2】

次の文章を読んで、設問に答えなさい。(配点 50 点)

※ 問題資料は下記参照

出典: 文部科学省 (2017), 「大学スポーツの振興に関する検討会議 最終とりまとめ
～大学のスポーツの価値の向上に向けて～」, ウェブサイト公表資料,
pp. 2-22 を一部改変

[設問 1] 大学スポーツの振興が必要な理由と、大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版 NCAA）が必要な理由に関する文部科学省の見解をまとめなさい。（「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版 NCAA）」は「日本版 NCAA」と略記すること。）

[設問 2] 設問 1 にまとめられた文部科学省の見解を踏まえて、大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版 NCAA）に関わる下記下線部の主張について、(A) から (C) の形式に沿って論評しなさい。（設問 1 と同様に、「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版 NCAA）」は「日本版 NCAA」と略記すること。）

論評する主張：

※ 問題資料は非公開

出典: 中村哲也 (2017), 「日本版 NCAA 構想の問題点と課題」,
『現代スポーツ評論』, 36, p. 63

論評の形式：(A) 是か非か、いずれの立場を支持するのかを明記する。

(B) 是とする立場、非とする立場の両者の、妥当な点と問題点を検討する。

(C) 最終的な結論をまとめる。

【問題 3】

下記の文章をよく読んで下の設問に答えなさい。

(配点 50 点)

※ 問題資料は非公開

- 出典：1. 日本体育協会医科学ガイドブック「スポーツ活動と防衛体力」 pp.12-15,
2. 秋本崇之他（1998）「高強度トレーニングによる安静時唾液中分泌型 IgA 変動」
『体力科学』47, pp.245-252. 一部加筆・改変]

[設問 1] 研究【Ⅰ】と【Ⅱ】の研究をもとに、カゼとスポーツ活動との関係についてまとめなさい。

[設問 2] カゼとスポーツ活動との関係をより明らかにするためには、研究【Ⅰ】及び【Ⅱ】の研究に加えて、さらにどのようなことを調べればよいかを具体的に述べなさい。